

Cuisinart®
High Speed Processor
HOT BLENDER

取扱説明書

クイジナート
ハイスピードプロセッサー
CBT-500 PRO 2

保証書付



このたびは、クイジナートハイスピードプロセッサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は本機のそばなど、いつも手元に置いてお使用ください。

本製品は日本国内専用に設計されていますので、
国外での使用はできません。

FOR USE IN JAPAN ONLY

もくじ

安全上のご注意	1~3
お願い	4
各部の名前	5
保護装置について	6
使い方	7
お手入れ	8
クラッチの外し方	9
クラッチのセットの仕方	10
故障かな?	11~12
保証・アフターサービス	12~13
無料修理規定	14
仕様	裏表紙
無料修理保証書	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、必ずお守りください。
- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容です。
 注意	軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれのある内容です。

物的損害 * とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかる拡大損害を示します。

■お守りいただく内容を、次の図記号で示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	実行しなければならない「強制」内容です。

お読みになった後は、必ずいつでも見られる所に保管ください。



絶対に分解・修理・改造は行わない

(火災・感電・けがの原因)

- 修理は販売店、または修理ご相談窓口までご相談ください。



本体を水につけたり、水をかけたりしない

(感電・ショート・発火の原因)



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしない

(感電の原因)

⚠ 警告



ブレードや回転部を露出したままで運転しない

(けがの原因)

- ブレードや回転部が露出したままで、電源プラグを差し込まない。
スイッチが入るとブレード・回転部が回転します。



運転中にカバーを開けたり、ボトルの中に指・はし・スプーンなど
食材以外を入れない

(けがの原因)



子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない

(感電・けがの原因)



コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、
ねじったり、引っ張ったり、重い物をのせたり、束ねたりしない

傷んだプラグ・緩んだコンセントは使わない。

(傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因)

- コード・プラグの修理は販売店、または修理ご相談窓口までご相談ください。



コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外で使わない
(たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因)



電源プラグのほこりなどは定期的に取る

(プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因)

- プラグを抜き、乾いた布でふく。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因)

⚠ 注意



不安定なところでは使用しない
(けがの原因)



運転中に移動させない
(けがの原因)



運転中にボトル・カバーの取り付け、取り外しは行わない
(けがの原因)

●ブレードの回転が止まってから ボトル台を本体から外す。



ブレードは鋭利なため直接手を触れない
(けがの原因)



部品の取り付け、取り外し、およびお手入れするときはスイッチを切り、
電源プラグを抜いておく
(けがをする恐れ)



使用時以外は、絶対に電源プラグをコンセントから抜く
(絶縁劣化による感電・漏電火災の原因)



熱い材料を攪拌するときはやけどに注意する
(キャップの外れや、ふきこぼれによるやけどの原因)



電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く
(感電やショートによる発火の原因)



スイッチをOFFにしてから、電源プラグを抜き差しする
(けがの原因)



アースを確実に取り付ける
(故障や漏電のときに感電する恐れ)
アースの取り付けは販売店にご相談ください。

お願い

■ 設置場所について

本機の電源は、専用の漏電遮断器付きサーキットブレーカー、もしくはそれと同等の設備のある専用コンセントを使用してください。

アースは必ず取ってください。

アースは法令により、電気工事士による第3種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。

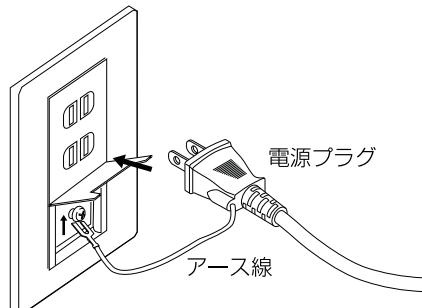
ガス管、水道管、電話のアース線、避雷針などには危険ですから絶対にアース線を接続しないでください。

本体と電源コードは水がかかるないところに据え付けてください。

■ 電源の接続について

アース線をアース端子に接続します。

電源プラグをコンセントに差し込みます。



※使用時以外は電源プラグを抜いておく。
(アース線は電源プラグに接続されたままにしてください。)

■ お願い

●ブレードに材料が引っ掛かって回らなかつたり、回りにくいときは、いったんスイッチを切り、ボトルの中の材料を入れ直して、再度運転させてください。

●異常音や振動が大きいときは、材料を減らしたり、材料を小さく刻み直してください。

●連続して使う場合は、4分ごとに2分以上休ませてください。

●使用直後はクラッチが高温になっていることがあるので触れないでください。

●空運転はしないでください。

●始動時はカバー、キャップを手で押さえ、LOWスピード、またはパルススイッチの断続運転で攪拌し、必要であればHIGHスピードの連続運転で攪拌してください。キャップを押さえていないとキャップが外れることがあります。また、キャップの小さな空気穴から食材が吹き出ることもありますのでご注意ください。

●運転の途中で材料や調味料を加えるときは、スイッチを切り、キャップを外して入れてください。

●ボトル台とステンレスボトルを正しく締めづけても、食材が漏れる場合はブレード又はパッキンを交換してください。

●本体、クラッチ部分に食材、水がたまらないように注意してください。モーターの音が大きくなる場合があります。

■ 禁止材料

●かたいもの

氷のみの粉碎、冷凍食材(野菜や果物)、乾燥大豆、穀類、乾物類…など

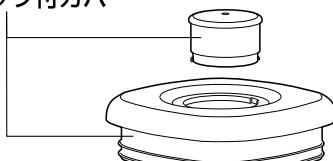
●粘りけのあるもの

自然薯、大和芋、ゆでたじゃがいも…など

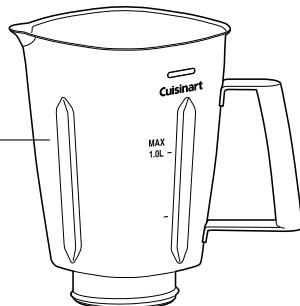
●肉類・魚類(加熱処理されていないもの)

各部の名前

透明キャップ付カバー



ステンレスボトル



パッキン

※パッキンは合計10枚
(予備8枚含む)同梱
されています。

ブレード

パッキン

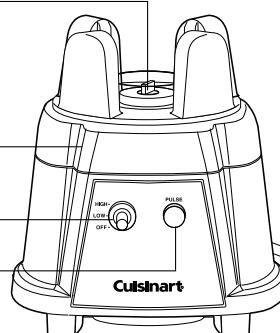
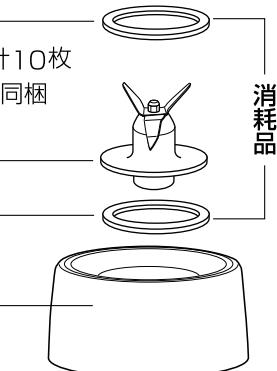
ボトル台

クラッチ

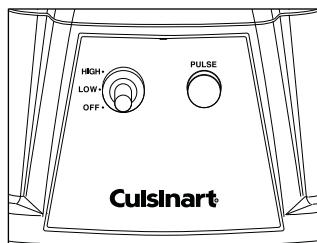
本体

スイッチ

パルススイッチ



スイッチ操作



●スイッチを上に押し上げるとLOW(低速)運転します。低速では約15,000回／分(無負荷時)の回転をします。

さらに上に押し上げるとHIGH(高速)運転します。高速では約18,000回／分(無負荷時)の回転をします。

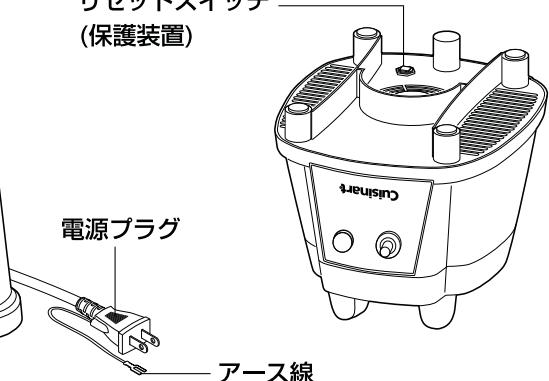
●パルススイッチは、押している間だけブレードが回ります。

押したり放したりして断続運転させて攪拌を早めるときなど、ごく短時間だけ運転させたいときにご使用ください。

スイッチがOFFの位置でもパルススイッチは作動しますのでご注意ください。

リセットスイッチ

(保護装置)



保護装置について

このブレンダーは、過負荷などによって発生するモーターの損傷を防ぐために二つの防止機能(リセットスイッチ、PTCサーモスタッフ)が取り付けてあります。

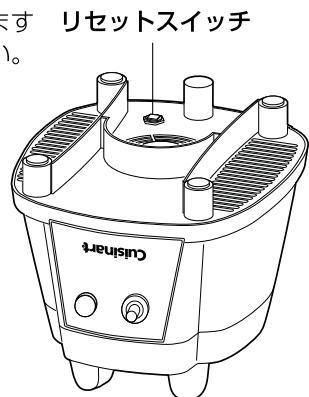
運転が停止した場合、それぞれの方法で対処し、再運転してください。

運転が停止した場合は、必ずスイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

●リセットスイッチについて

モーターに過負荷がかかると、保護装置が働き運転が止まります
が、故障ではありません。次のようにして復帰させてください。

- 1.スイッチをOFFにし、電源プラグを抜く。
- 2.ボトルを本体から外し、材料を取り出す。
- 3.本体裏面のリセットスイッチを押す。
- 4.ボトルをセットし直し、材料を減らして入れ直す。
- 5.電源プラグをコンセントに差し込む。
- 6.スイッチを入れて再び運転する。



●PTCサーモスタッフについて

モーターの運転が止まるもう一つの原因にサーモスタッフの作動があります。長時間の連続使用や、過負荷による本体内部の異常加熱が原因と考えられます。

この場合は本体内部を冷ます必要があります。
次のように冷ましてから再度運転させてください。

- 1.スイッチをOFFにし、電源プラグを抜く。
- 2.ボトルを本体から外し、材料を取り出す。
- 3.1時間くらい本体を冷ます。

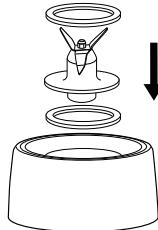
復帰時間は停止時の本体内部温度、室温などにより異なります。

- 4.ボトルをセットし直し、材料を減らして入れ直す。
- 5.電源プラグをコンセントに差し込む。
- 6.スイッチを入れて再び運転する。

使い方

①ボトル台にパッキンをのせ、その上にブレード、さらにパッキンの順にのせます。

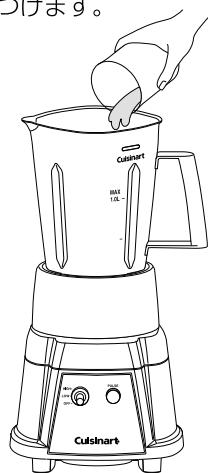
※2枚のパッキンは同じもので、表裏ありません。ブレードの上下に入れます。



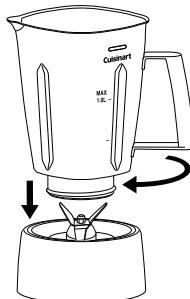
△注意

- 正しく装着しないと食材漏れや部品・本体が破損する可能性があります。
ご注意ください。
- ブレードに直接手を触れない。
(けがの原因)

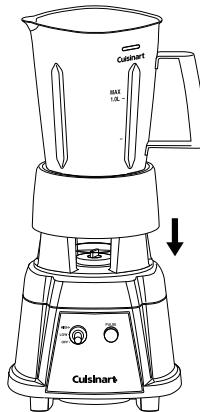
④食材をボトルに入れ、カバー、透明キャップをつけます。



②ステンレスボトルをのせ、回してしっかりと固定します。締めつけがゆるいと運転中に食材がもれることがありますので、しっかりと固定してください。



③本体を安定した調理台に置き、ボトル台をのせます。

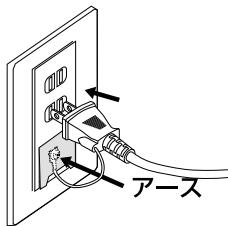


△注意

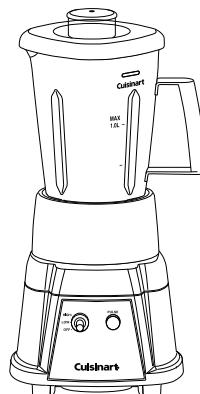
- 本体に乗せてセットしない。

⑤

電源プラグをコンセントに差し込みます。



⑥始動時はLOWスピード、またはパルスで様子を見ながら運転し、その後必要に応じてHIGHスピードで運転します。



△注意

- 1000mlを越える量を入れない。
- 禁止材料を入れない。
- 食材は2~3cm角に切る。

△注意

- アースの接続を確かめて電源プラグを差し込む。

△注意

- 始動時は手でカバーを押さえて運転させてください。キャップの外れや、食材が吹きこぼれことがあります。

お手入れ

- 本体は水に浸けたり、水洗いは絶対にしない。
- 電源プラグを抜き、ブレードの取り扱いに注意して行う。
- 使用直後はクラッチが高温になっていることがあるので触らない。
- 薄めた台所用中性洗剤と柔らかなスポンジを使う。
- ベンジン・シンナー・化学ぞうきん・たわし・磨き粉を使わない。
表面を傷つけます。
- 漂白剤は使わない。
金属部分の錆の原因になります。
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使わない。
樹脂の変形の原因になります。
- 本体以外は消耗品です。
破損、ひび割れなどが見つかったときには、使用しないでください。

カバー・透明キャップ・パッキン・ボトル台 ステンレスボトル

スポンジで洗う。

スポンジで洗う。

ステンレスボトルのエッジに注意して洗う。

ブレード

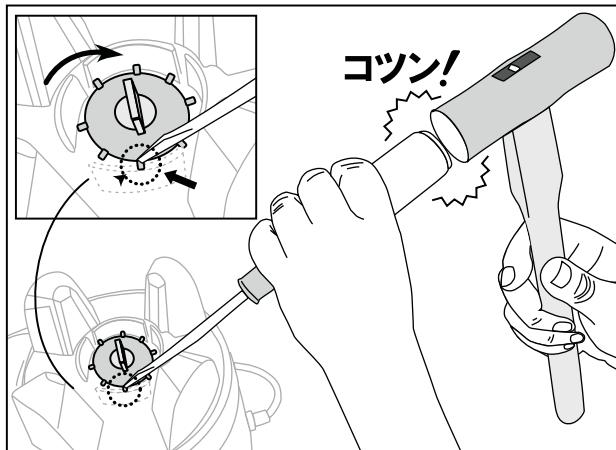
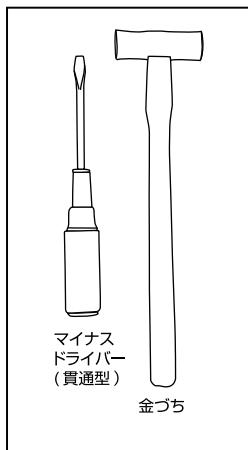
柄の付いたブラシを使い、刃先に注意して洗う。洗浄後は水気を拭き取りしっかりと乾かしてください。

本体

よく絞った布巾でふく。

ブレードは水に浸けたままにしておかいでください。回転軸の中に含まれている潤滑油が溶出し、劣化を早めます。

クラッチの外し方

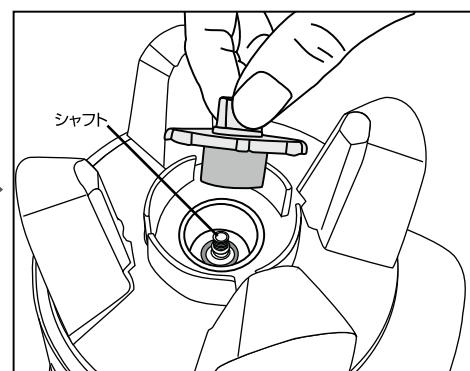
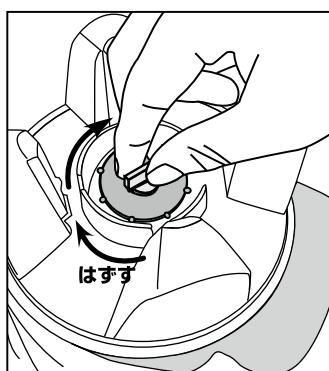


1 マイナスドライバーと
金づちを用意します。

2 上記の角度のように、マイナスドライバーをクラッチの突起部に斜めに
当てる。時計回りに金づちで“コツン”とたたいて一瞬の強い衝撃を
与えて回す。



金づちで手をたたかないように注意する
本体にキズをつけないように注意する

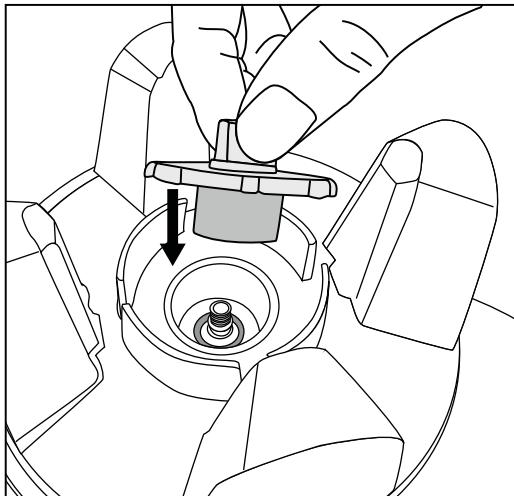


3 上記のように手でクラッチをつまみ、時計回りにくるくる回します。クラッチが本体からはずれます。

※クラッチとシャフトはネジで締まっているので、何回か繰り返すとクラッチが上に上がってきます。

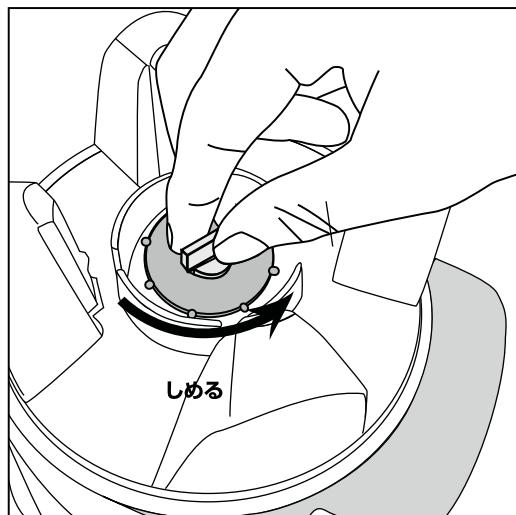
△注意 外れない場合は 2、3 と繰り返して行ってください。

新しいクラッチのセットの仕方



ポイント

- 1 クラッチを手に取り、本体中央のシャフトにセットする。



- 2 半時計回り(左図矢印の方向)にクラッチを回す。

※その後はご使用いただく間に
食材の負荷により、正しく
締まります。

△注意

ねじが正しく締まらない
又は回らない時は、
無理にねじ込まない

正しくクラッチの交換が出来ない場合はカスタマーサービスへご連絡ください。

故障かな？

次の点検をしていただき、それでもなお異常のあるときは事故防止のため使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げの販売店、または当社にご相談ください。お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは絶対にしないでください。

こんなとき	原因	対処
スイッチが入らない。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグを確実にコンセントに差し込む。
材料がもれる	ボトル台、パッキン(2か所)を正しくセットしていますか。	ボトル、パッキン、ブレード、ボトル台をしっかりとしめておく。
ブレードが回転しない。	材料を入れ過ぎていませんか。	量を減らす。
	材料が大き過ぎませんか。	小さく切り直す。
	禁止材料を入れていませんか。	いったんスイッチを切り、禁止材料を取り除く。
	ボトルが正しくセットされていますか。	いったんスイッチを切り、正しくセットしなおす。
使用中に回転が止まる。	材料が引っ掛かっていませんか。	いったんスイッチを切り、材料を全て取り出して入れ直す。
	材料を入れ過ぎていませんか。 禁止材料を入れていませんか。 長時間の連続使用をしていませんか。	PTCサーモスタッフ、または保護装置が働いて止まっています。 故障ではありませんので、6ページを参照して対処してください。
においがする	初期段階の使用、長時間の作動、過負荷の使用の場合、においや煙のようなものを感じることがあります。これはモーターコイル巻線の補強剤(絶縁ワニス)がモーター自体の発熱により蒸発するためで故障ではありません。	

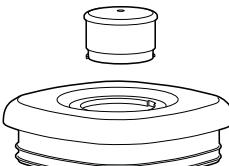
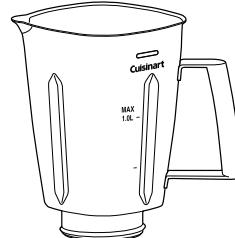
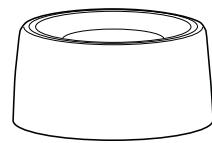
故障かな？

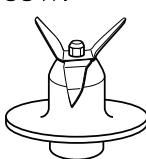
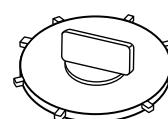
※調理中こんなときは……お確かめください。

回転が止まる、止まりそうになる	すぐにスイッチをOff(切る)にする。	●分量を減らす。 ●材料を上下によく混ぜ合わす。 ●水分を加える。
空回りしている	すぐにスイッチをOff(切る)にする。	●へらなどでボトルについた材料を落とす。 ●材料を上下によく混ぜ合わせる。
音が異常に大きい	すぐにスイッチをOff(切る)にする。	●ボトルをしっかりとボトル台に締めつける。 締めつけがゆるいと、食材がこぼれたり、外れることがあります。

保証とアフターサービス

●追加部品購入

キャップカバー CBT504	ステンレスボトル CBT503	ボトル台 CBT505
		

パッキン（10枚セット） SPB105	ステンレスブレード CBT501N	ステンレスクラッチ CBT502
		

保証とアフターサービス 必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談はまず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などで困りの場合は…

- 修理は、「修理ご相談窓口」へ
- 使いたか・部品・お買い物などのお問い合わせは、「カスタマーサービス」へ

保証書(裏表紙をご覧ください)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受取りください。よくお読みのあと保存してください。

保証期間：お買い上げ日から **本体 1年間**

※付属品の保証はございません。

補修用性能部品の保有期間

当社では、この ハイスピードプロセッサー の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後、最低6年保有しています。

修理を依頼されるとき

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理受付させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。なお、直接修理ご相談窓口、お客様カスタマーサービス係に送付した場合の送料はお客様負担となります。修理内容を確認のため、事前に修理相談窓口までご連絡くださることをお勧めいたします。

●保証期間を過ぎているときは

ご要望により有料修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	ハイスピードプロセッサー
品番	CBT-500PRO2
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

コンエアージャパン お客様相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などで困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ下記窓口へ

使い方・部品・保証などのご相談窓口	
コンエアージャパン 合同会社 カスタマーサービス係	
0120-191-270 フリーダイヤル	
受付時間：9:00～12:00 13:00～17:30 (土日・祝日及び夏季休業日・年末年始休業日を除く、弊社 インターネットサイト上にご案内いたします。)	
修理品のお送り先は修理センターでの受付時にご案内申し上げます。 〒107-0062 東京都港区南青山1丁目15-41	

修理ご相談窓口	
コンエアージャパン 修理センター	
0120-137-240 フリーダイヤル	
受付時間：9:30～18:00 (土日・祝日及び夏季休業日・年末年始休業日を除く、弊社 インターネットサイト上にご案内いたします。)	
修理品のお送り先は修理センターでの受付時にご案内申し上げます。	

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱い

コンエアージャパン合同会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

MEMO

仕様

電源	AC 100V 50/60Hz	定格容量	1000ml
消費電力	270W	外形寸法	約191(幅)×218(奥行)×440(高さ)mm
定格時間	連続(4分間運転、2分間停止の繰り返し)	質量	約 4.5kg
回転数	約18,000回/分(無負荷時)	コードの長さ	約1.5m(有効長)

愛情点検



長年ご使用のハイスピードプロセッサーの点検を！

ご使用の際こんな症状はありませんか

- 電源コードやプラグが異常に熱くなる。
- コードを折り曲げると通電したり、しなかつたりする。
- モーターの回転が止まったり、遅かったり、不規則なときがある。
- 運転中に異常な音がする。
- その他の異常・故障がある。

使用中止



故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、または当社まで点検・修理をご相談ください。

オフィシャルサイト

<http://www.cuisinart.jp/>

BA-CBT500PRO2-02-1405

